

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 36 号
発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院
産科 婦人科
〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@ui.biglobe.ne.jp
発行日：平成14年8月5日(月)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(36)

脾 I

暑さに精気を奪われそうな日々が続いています。でも、高島郡の方は幸せです。窓を開けさえすれば、朝夕は気持ちのいいひんやりした空気を体いっぱい吸い込めます。いたる所に比良山系の冷たい伏流水が湧き出ています。新旭の針江地区の伏流水が集まった小川には沢山のメダカやフナが気持ちよさそうに泳いでいました。私の実家の裏にも、同じような小川があり、小学校の時、その小川の中を歩いて、フナ、コイ、ナマズ、ザリガニと戯れるのが日課になっていました。こんなにきれいな小川に巡り会えて子供の頃の楽しい思い出が再び蘇ってききました。ありがとうございます。

今月は脾についてお話しします。漢方の脾は、消化吸収、止血、筋肉、食欲、味覚、唾液・な

どに関係があります。脾は、食物の消化吸収および運搬を調整し、筋肉に栄養を与え、出血を止め、唾液を作り、口腔内の潤いを保ち、味覚が失われないようにしています。

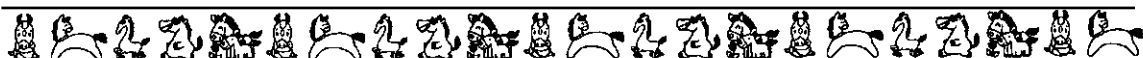


梅花藻の小川 (新旭町針江)

では、実例を挙げましょう。
二五歳女性、妊娠一七週。赤ちゃんの成長は順調。二週間前からトイレが近く、排尿時の痛み、腰の重だるさを感じています。顔色は良好、両頬は少し赤い。お腹は柔らかく、心下部に軽い抵抗を認め、脈は滑で速く、舌は淡紅色、薄い乾黄苔、両側に歯の跡が見られ、やや肥大。尿に白血球と赤血球が多数見られました。そこで、猪苓湯という漢方薬を処方。三日後、尿の所見はよくなりましたが、更に四日処方。その後、排尿異常はありません。

五四歳女性、日光に当たると、顔、腕などに赤い蕁麻疹がで、皮膚科を受診。薬を飲むと体がだるく、眠くなると訴え来院。顔色は赤黒く、お腹は硬く、両側腹直筋の緊張、臍の斜め左下の抵抗を触知。脈は滑で速く、舌は紅色、薄い乾黄苔。三、四日の便秘。そこで、桃核承気湯という漢方薬を処方。七日後より症状が改善し始め、二ヶ月後には蕁麻疹がなくなりました。薬を止めると便秘になるので続





けて服用されています。二九歳女性、三年前に仕事を変わってから、次第に体がだるく、目も疲れ、肩や首も凝り、足もだるく、手足がほてり、寝汗に苦しむようになり、内科、神経科、眼科などを受診。西洋医学的には異常はなく、治療もないと言われたそうです。顔色はやや青黒く、眼窩に大きな隈、お腹は柔らかく、両方の肋骨下に抵抗と圧痛、心下部にジャブジャブという音、お臍の上下で動悸、舌は乾燥し、薄い白苔を認め、脈は弱く細く、沈み、速く打っていました。そこで、補中益気湯、五味子、麦門冬、香附子、蘇葉を処方し、生活のリズムをゆっくりするように言いました。一ヶ月後「先生、ずいぶん楽になりました。ありがとうございます」と明るい表情で来られました。七ヶ月後廃薬。

五九歳女性、一〇年前から体がだるくなり、頭痛、むくみ（顔、手、足）、肩こり、背中の痛み、食欲低下、便秘がひどく、内科を受診。C型慢性肝炎と診断され、インターフェロンの治療を約一年間受けましたが、肝機能検査も症状も改善し

ませんでした。顔はむくんでドス黒く、お腹は充実して硬く、両側肋骨下部に抵抗と圧痛、臍の両横に抵抗、脈はピンと張り、舌は暗紅色、乾厚黄苔、舌下静脈の怒張が見られました。そこで、大柴胡湯、桃仁、牡丹皮、厚朴、蘇木、紅花、木通、当帰、甘草を処方しました。一ヶ月後、「だいぶ楽になりました」と言われました。一年後、肝機能不変。二年後、検査値やや改善。三年後、検査値はほぼ正常化。四年後の現在、肝機能、超音波に異常はありませんが、肝炎は完治していません。

すごく暑いこの頃です。汗は湿をとても嫌います。汗や尿が少ないのに、水分を摂り過ぎると、脾を傷め疲労、倦怠に陥ります。体に水分が溜まらないように、体を動かし、睡眠や過労にも注意して下さい。

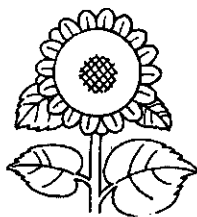
外来、在宅、お産など毎日充実した生活を送っています。赤ちゃんから高齢者まで幅広い層の診療に従事できる立場にあることを幸せに思っています。次回も、肺についてお話しします。

〔院長〕



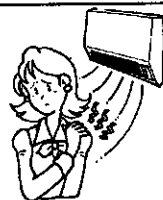
慢性肝炎

肝は内臓や筋肉の血流を調節し、睡眠時や安静時は血液を貯蔵しています。情緒を調節しながら、内臓、消化、卵巣（月経）の働きを調えています。この病気に罹ると、情緒が乱れ（イライラ、短気）、内臓の動きが異常になり、食欲低下、月経不順になります。漢方薬には、この乱れた肝の働きを取り戻す力があります。



夏ばて

暑い夏に、汗をかき過ぎたり、冷たいジュース類を飲み過ぎたり、夜更かしをして、体がむくんだり、首肩背や手足が痛くなったり、冷房の中で体が冷え、疲労がたまり、食欲が落ちている方、漢方薬で、体力を回復して元気を取り戻して下さい。



蕁麻疹

食物、細菌感染（扁桃腺炎、関節炎・・・）、薬物、日光、寒冷や温熱刺激、雑草・・・などが原因で発生します。原因に応じて、食べ物、生活、過労、睡眠、温度、薬剤・・・などにも注意しながら、漢方薬を服用すれば、大半の蕁麻疹は治ります。



当院の漢方治療



剤型について

- ・ エキス漢方薬：錠型タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・ 漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい（特にこの季節は注意して下さい）。それでも、湿る場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の漢方薬専用容器（無料）をご利用下さい。

適応症について

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱、・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩こり、腰痛、便秘、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え症、低血圧、過敏性大腸、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、口内炎、口腔乾燥、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性脾臓炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、带状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産・早産、妊娠中毒症、産後回復不良、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、うつ病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・・・・・・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬について

- ・ 軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせて治療。
- ・ 重症の病気、エキス漢方薬が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、子供の方、ご相談下さい（高齢の方もどうぞ）。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、心電図、骨量測定・・・・）などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定（4～6ヶ月毎）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査（尿）も実施しています。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に利用しています。

各種疾患のパンフレット

当院での治療のパンフレットがあります。お気軽にお申し出下さい。アトピー性皮膚炎、更年期障害、スーパーライザー、骨粗鬆症、子宮内膜症、子宮筋腫、HRT、不妊症、排卵、膣炎、・・・など多数。

外来休診日

8月13日（火）～8月15日（木）は外来を休診にします。お産などの急患は、この限りではありません。

健康保険証の確認

保険証は、毎月確認しますから、ご提出下さい。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、受付に早急に連絡して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に（月に2～4回）訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。

1ヶ月の費用（70才以上）はおよそ4000円です。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	-	○	-	○	-	-

- ◆漢方外来(月～土)：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方・思春期の方(女性・男性、どなたでもお越しください)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診・妊娠中の方(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：8月6日、9月3日、10月15日、11月12日、12月10日(火)
対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

後期-母親教室

日時：8月27日、9月10日、24日、10月8日、22日、11月5日、19日(火)
対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込み方法：申込ノートでご予約して下さい。

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

北欧の「色黒善魔」と言う妖精は、夜、人家に現れ、家の手伝いをするとされています。この妖精にちなんだお菓子で、チョコレートを加えたココア生地に、ナッツやドライフルーツが入っています。「アントルメ・アラ・ムスソース・ドランジェ」はオレンジのコンポーネントとムースを組み合わせたケーキです。当院のティータイムをお楽しみ下さい。



妊娠中の膀胱炎

妊娠中はおりものが増え、子宮が大きくなり、便秘の傾向になります。これらが原因で膀胱が変形し、尿が残りやすくなります。また、免疫力が低下し、膀胱壁もむくみやすく、尿を全部出し切れなくなります。膀胱炎は切迫流産・早産や腎盂腎炎の原因にもなります。当院では、漢方薬を中心に治療をしています。治りにくい場合、抗生物質を併用することもあります。



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、出来るだけ早く、受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**と**予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。お一人およそ、15～20分で対応します(無料)。
日時：**第2、3金曜日** 午前8:40～午後12:30。

立合い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時：**毎週火曜日** 午前11:00～正午(有料)。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウッキー！ Dr. ウッキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載(i-mode対応)。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ、産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。ホームページの内容は、待合でも閲覧できます。

従業員募集

看護婦、助産婦の方、ご連絡下さい。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。